

# ああ、 結婚！

—婚活日記—

第38回

黒田長宏

2026年2月4日

64号原稿を送った。今日から3カ月でマーサのウーパールーパーしあわせ計画のポップアップストアで何が起きるだろう。

年3月3日

マーサのウーパールーパーしあわせ計画のポップアップストアの3回目は雨で、掛け声の時間も少なくして、来店者なし。自転車で子に乗せた母親が少し関心ありのような気もしたが、無理に追いかけて、行ってしまった。掛け声の時間の代わりに Youtube 撮影に力を注いだ。

4月22日

ポップアップストアをやってみて、回数が少ないかどうかというところもあるが、SNS 優先にして、いったん止めることにした。

私自身に実は必要な事柄だが、元気を出そうというのをテーマの一つとして、SNS をやっ払いこうと思う。対人援助という意味もあるかも知れない、と思いたい。

4月28日

OK ダンサーズの活動は、月2回火曜日である。1回は Youtube 中心、1回はマーサのウーパールーパーしあわせ計画ポップアップストアにするかと思ったりもした。だが。

今月2回めは、経営コンサルタントの先生のところまで、電話をして、マーサのウーパールーパーしあわせ計画のポップアップストアの管理人さんに、継続に難しさを感じたため、撤退するという電話をすると、了承された。

そのため、伺うことが無くなったため、活動予定の横浜ではなくて、急遽、火曜日のデーゲームとは珍しい、北海道日本ハムファイターズの埼玉西武ライオンズ戦へ所沢へ移動して観戦してきた。今後は、Youtube と Tik Tok 中心にネットでバズるのを中心にして行く。これは根幹なので、今までのように撤退は出来ない。撤退したら、どうしていいかまったくわからなくなるからである。バズれば、ポップアップストアも開催できるようになるだろう。順番の問題だと思っている。本当は人気が出るかの問題ではあるが...

5月4日

不定休の職場ではあるが、今日から祝日3連休になれたのと、還暦まで1年と1カ月と1週間ほどになってしまったので、少し振り返ってみたい。なぜ、私は対人援助学会の対人援助学マガジンにこうし

て投稿させてもらっているのか。の過程である。私自身の記憶なので盛っているとは思いますが、小学校3年生まではテストはほとんど100点で委員長にさせられたりが勘違いの始まりだった。案の定、特訓のような勉強もせず、ほとんど授業だけで過ごして、小学校低学年の頃からだんだん成績順は落ちて行き、高等学校は1クラス増えた時に遭遇したからだろうが、一番そぼの進学校に入学できて、確固とした目的を設定できずに、3年で理系のクラスに入りながら、数学もわからずに文系で受験した。当時名称はあったのかわからないが、日東駒専(専駒だと途中まで思っていた)が、それも模試では合格基準に達していなかった記憶があるが、結局、日大、駒沢、専修、中央の4つを受けたと思う。基準に達していないにも関わらず、当時は、東京六大学は頭が良くて気に入らないので、受けずに社会に出てから負かしてやろうと思って意識的に受験しなかったと思う。きっと悪い人間も多いに違いないと思っていた。今ならあえてMARCHも受験しなかったと思うのだが、知らずに中央を受験してしまったのは今でも少しだけ失敗だったと思っている。基準がなぜ日東駒専なのかはわからない。偏差値的にその下の範囲を基準にしていたら、日東駒専も敵視して受験しなかったはずなのだが。基準からして曖昧だった。ただ、なんでもいいからというわけではなくて、心理学が学べるところを選んではいた。高校の図書館で、探していたわけではなく、なにげなく手にとった『心のプリズム』という、朝日新聞の連載を本にしたものだと思うが、それもきっかけだと思うが、心理学というのはなんでもわかるような学問なのかなとふと思ったのもあるかも知れない。結果、専修大学文学部人文学科だけが受かり、入学した。

くじけそうになったりいろいろあったが、就職も第一法規出版という会社だけ受かり、1カ所ずつだけで進むことが出来た。ここまでは比較的順調に行けて助かったと思う。ところが、出版社は家庭の事情

でたしか10カ月ほどで辞めることになり、そこから運が悪くなったわけでもないが、40歳過ぎまで15社前後の転職を繰り返すことになる。せっかく最初の大学や会社までは1つずつ進んだのに無駄にってしまった。だが、最初の会社まで1つ受かっていたことは大きいと思う。そうでなければさらに迷っていたはずだ。家庭事情は亡き父の病気で名古屋の支社から茨城県の実家に帰るのが要因だったが、最初の会社でも仕事がわからず体重が激減し、ぎりぎりのところで呼び戻された感がある。最初の会社で故春日井健さんという歌人が先生を勤める女子大に営業に行くことになり(そのころ、出版社では短歌集を出版した)、たしか購入してもらったと思うが、(だったと思うが、だとしたらかなりお手柄だと思うのだが)それが影響していたかわからないが、後に実家の当時とっていた毎日新聞に、故河野裕子さんが選者の1人で、唯一の女性だったかはわからないが、投稿したら、そのころ、河野さんの所属する塔短歌会が、大きく人員を増やそうと計画していて、ハガキがきて、入会した。今は辞めてしまっているのだが、塔短歌会も京都にあり、対人援助学会もその地域だと思うので、思いがリンクする。あと食料が無いと人間生きられないので、転職の数々は種苗店や産直会社、給食会社など周辺が多く、その後に出版社以来、久しぶりにフルーパーのマスメディア的なところに入れたので、農業企画をしたり萩本欽一さんと企画で話をしたりした。騎手の故後藤浩輝さんを取材先の関連でフリーペーパーに登場してもらったりしたが、そこも辞めた後に死去のニュースが出た時は少し驚いた。有名人ねらいの傾向が私にはあったので、ほかにもいろいろあるが省略する。

その後、転職を繰り返して一体どうなってしまうのだと思っていたところ、失業中だと思うが、『現代思想』2006年12月号の「自立を強いられる社会」を、千葉県柏市だったか、入った書店で見つけて、ベシックインカムという言葉を見つけた。失業を繰

り返して困っていた私はこれだと思い、著者の堅田さんという美人教師も含めて、自己紹介の営業に行った。当時政治に力を入れていた、田中康夫さんがゲストに出ている集会に出席したこともある。反貧困集会にも出かけて、宇都宮健児さんに接近したり、湯浅誠さんにたしか旗みたいなものを持っていくれと頼まれたような記憶もある。そこらへんは時代がずれるかも知れないし、その頃かも知れないのだが、その中で、どちらもネットとメールで探したのだと思うが、生活経済学の小沢修司先生と、中川村長の曾根逸郎氏をたしか私が結ぶことができ、東京のなんらかの集会であいさつした際に、当時のみどりの未来という政策グループがベーシックインカムに関心を持っているというので、ちょうど、日本のみどりの党として編成しなおして、唯一衆議院選挙に出たころにサポーターとして入っていたことがある。どれも短い期間だった。その後、現在の勤務先の病院が拾ってくれて17年経過するうちに、若いころの彷徨は減った。

メディアで紹介されるような人達に会いに行くようなことは減ってしまったが、東関東大震災では被災者となり、被災者が1年くらいだったか高速道路代が無料になる保護を受けたため、連休をとって福島県に行き、原発反対デモなどに参加した。先頭を歩いた。右翼の方々と横断歩道でにらみあったが、いまでは、左翼側の人達は性的に自由だ多様性だと勘違いしていて、右翼側というか保守的な人達のほうが良いと思うようになり、緑の党にも性的な考え方などはきっと疑問に思うだろうけど、現在はどこにも関与しない。むしろ無駄だとさえ思うようになった。あのころは心筋梗塞前だったし、40代だったし、朝の3時に起きて、その日の夜10時か11時ころ帰ったり、大雪で対向車もない中を帰ったり、元気だったと思う。(追記:性的に墮落した日本という国の問題については、右も左も関係なく墮落してしまっていると思っている。だいたい新宿にあるらしい大久保公園というたぶん公園で

立っている女なんてまともな国ならそんな現象が起きるわけがない。結婚できずに離婚だらけなのも同根である。1960年代半ばころからのまさに私が生まれたころからの問題である。心筋梗塞になってしまった後だが、私の力で性の墮落の問題をなんとか解決できないのだろうか?)

そういう中で、考えている人達が集まっている集団に入りたいと思い、生活関連の学会や、道徳関連の学会も入れてくれたのだが、1つだけ残っているのが、この対人援助学会である。それも、この頃動きが無くなっているが、メーリングリストで、対人援助学マガジンに書かせてもらっていることが、対人援助学の何もわからず、対人援助もしない、子供もできなかった私自身のせめてものつながりであろうか。ずいぶん、ここには記録させていただいているので、間違えて私がブレイクしたら伝記の資料にしてください。

そして短信であらためて書こうと思うのだが、1年前にマッチングアプリで婚活のためにやっていたのに、やっているうちに、Youtubeコンビになってしまった。しまったというか、していただいている、マーサとともに、マーサとクッピー(私)のOKダンサーズというユーチューバーとティックトック中心に、困っていてもがんばろうというようなパフォーマンスを提供していければなんとか存在意義をつなげられるのかなと思っているところである。